

平成24年度

第1回さいたま市花とみどりのまちづくり審議会

議事録

日 時 平成25年1月23日(水)
14時00分 から 16時15分 まで

場 所 埼玉会館 5階 5B会議室

出席者 会長 丸田 頼一
八木澤 順治
堀江 典子
森田 博
坂田 澄代
小野 達二
引間 成子
黒岩 修
池上 憲二
塚本 一三(尾上 佑介 代理)

事務局 薮島都市局長、小暮都市計画部長、関都市計画部次長、
北林みどり推進課長、中尾見沼田圃政策推進室長、
横田係長、川田係長、三角主査、藺村主任、益戸主事、
船本主事、大塚主事

■ 平成24年度第1回さいたま市花とみどりのまちづくり審議会 議事録

平成25年1月23日(水) 14:00~16:15

発言者	意見内容
議題(1) 記念樹事業における樹種の変更について	
事務局から、記念樹事業における樹種の変更について、資料に基づき説明	
池上委員	<p>6年間の配布実績を見ると、年々数値が下がってきている。また、およそ年間1万件ほどで推移しており、さいたま市の人口から考えると、引き換えに來ない人が増えてきていると推測されるが、なぜ引き換えを断る人が多いのか、市民の声は聞いているか。また、市としてこういった現状に対してどのように考えているか。</p>
事務局	<p>平成23年度における区役所での引換券の配布枚数と実際に記念樹を引き換えた件数を調べたところ、約5割の人が記念樹を受け取っていることがわかった。</p> <p>長年、キンモクセイとゴールドクレストを配布しており、2回目、3回目の引き換えでは魅力を感じなくなってしまった人も多いのではないか。また、記念樹を鉢で育てている方が多く、枯れることもあることから、育てることが大変と感じる人もいるため、引き換えない人が多いとも考えられる。</p>
小野委員	<p>前回の樹種の選定に問題があったのではないかと。例えばキンモクセイは大きな庭で育てることには問題ないが、乾性樹木であるため一般家庭では火事を恐れて育てない人も多いと聞く。</p> <p>今回は市民アンケートを実施したり、適切なプロセスを踏んだうえで樹種選定を行っているので、大変良い候補樹種が揃ったと思う。市民アンケートですでに結果が出ているので、本日の審議会では議論する段階ではないと思う。</p>
黒岩委員	<p>アンケート結果を見ると、せっかく育てるのであれば地植えをしてもらいたいが、鉢・プランターに植えている人が7割という状況は少々もったいないと感じる。</p>
池上委員	<p>配布時の鉢が30センチ程度の小さなものだから、ベランダにそのまま置いたりするのではないかと。</p> <p>また、市ホームページに掲載されている市民意識調査を見たが、樹種を変更したほうがよいのかどうか「わからない」と回答した市民が約5割もいた。多くの市民は樹種について関心がなかったり、樹種についての知識がなかったりすると思われるので、長く育てられるもの、育てやすいものを市側が示してあげたほうが良いと思う。そういった意味で、今回の3つの候補樹種について、私も良いと考える。</p>

堀江委員	記念樹は子どもの成長とともに大事に長く育てていくものなので、配布するだけでなく、その後のケアが重要になってくると思う。配布した記念樹についてその後どうなったのか、追跡調査のようなものは行っているのか。
事務局	アンケート調査時に配布した記念樹の追跡調査を行い、育成状況について質問したところ、キンモクセイが「良好」38%「普通」26%「不良」9%「枯れてしまった」27%であった。またゴールドクレストは「良好」22%「普通」21%「不良」3%「枯れてしまった」50%となっている。
塚本代理	自宅が庭付一戸建てかマンションかによって、育てやすい樹種は変わってくると推測されるが、アンケートでそれぞれの比率は聞いているのか。また、それぞれの場合で育てやすい樹種を選定することなどは選定段階で検討したのか。
事務局	庭付一戸建てかマンション住まいかの比率は調べていない。
池上委員	記念樹配布は出生・婚姻・新築時に行われるものであり、その段階ではやはり庭付一戸建てよりはマンション住まいの人が多いと思う。
事務局	今回の樹種選定はマンション住まいの方が鉢・プランターでも育てやすいものを選定している。
小野委員	今回は市民アンケートを実施してすでに結果が出ている。今後の課題としては、候補樹種を選定する段階で当審議会の議案にかけべきである。ただし、今回の樹種については結果的に良い選定であるといえる。
森田委員	庭に植えた場合はほとんど枯れていないと思う。「枯れてしまった」という人は、もらった鉢の状態のまま育てた人が多いのではないか。一回り大きな鉢に移して育てると、もう少し良い成長が見られたはずである。
池上委員	ゴールドクレストは10年前は人気があったが、5年前には人気に陰りが出てきた。庭に植えると根張りが悪く風で倒れ、また、ものすごく大きく育ってしまい手に負えなくなり伐採してしまうケースが多い。 鉢・プランターでも育てられる樹種を今回選定しているので、そういった性質をもつゴールドクレストの配布をやめることに対して私は賛成である。
八木澤委員	今回選定したオリーブの樹高は5メートルということであるが、それほど大きくならないものなのか。
池上委員	オリーブは品種がたくさんあり、あまり大きく育たない品種もあるので、そういった品種を選べば問題ない。
堀江委員	今後5年おきに樹種を変更するというが、もっと郷土を感じられ、ま

	た昔ながらの風景をつくっていけるような樹種を候補に入れることを検討してほしい。
事務局	5年おきに樹種を変更するというのはあくまで目安である。次回変更する際には、そういったことも検討したい。
引間委員	オリーブに実がなるには2種類合わせて植えたほうがよいと聞いたことがあるが実際はどうか。
池上委員	ブルーベリーも同様であるが、2種類合わせて植えると実なりは良い。
事務局	ただし予算の都合もあるので、1本の配布とさせていただいている。
池上委員	ぜひ配布時に「育て方メモ」を一緒に配布してほしい。メモに実がなるにはもう1本一緒に植えたほうがよいというアドバイスを記載すればよいと思う。
報告事項（1）緑地の公有地化について （2）指定緑地の状況について	
事務局から、緑地の公有地化について、指定緑地の状況について、資料に基づき説明	
黒岩委員	武蔵野台地の雑木がここ10年で少なくなってきたのは残念である。緑地の指定状況は若干増えてきているようだが、景観の点からクヌギ・コナラの森は残していただきたい。
池上委員	緑地の公有地化について議論するものは、ガイドラインの内容なのか取得予定地についてなのか。
事務局	ガイドラインについては平成22年度と平成23年度に審議していただき、試行で運用するという事で承認をいただいている。 今回は、平成25年度と平成26年度について用地取得を図ろうとしている大牧自然緑地についてご意見いただきたい。
池上委員	指定緑地の状況についても大和田町1丁目について意見を聞きたいのか。
事務局	こちらは報告という形で紹介しているが、ご意見があれば今後の参考にしたい。
池上委員	最近の指定緑地の数値はあまり変わっていないが、市としては今後増やそうとしているのか、このままの数値でいこうと考えているのか。 また、制度の周知はどうしているのか。
事務局	市としては増やしたいが、現在、公有地化に関しては要望が上がっているものから進めている。 公有地化については、相続絡みで売られてしまう緑地の喪失という点が悩ましい。できるかぎり緑地を残すために地権者と交渉して公有地化を図っている。また、公有地化できなくても税の優遇がある自然緑地や、保存緑地に指定することで喪失を妨げるよう取り組んでいる。

	<p>市として制度を設けているのは、みどりを保全し続けていくことを目的としている。買取の申し出があった場合は積極的に買っていくという予算要求をしているので、制度をフルに活用していきたい。</p> <p>ただ、市としてPRが不足していると感じるので、市民に制度を理解していただく上でも今後は積極的にPRを図っていきたい。</p>
小野委員	<p>森の公有地化や借地化は、ほったらかしにしていたら意味がない。ボランティアは高齢化が進み、数が足りていないので、ボランティアの育成という議論も必要である。</p>
丸田会長	<p>特別緑地保全地区は平成21年度以降数値が動いていないが、どういう状況か。</p>
事務局	<p>平成21年度以降1.97ヘクタールで3地区となっているが、特別緑地保全地区にしていくために公有地化を図っているものもある。公有地化し、整備したものを特別緑地保全地区に指定している。</p>
丸田会長	<p>指定緑地全体のなかで相続絡みで減免があるのは特別緑地保全地区か。</p>
事務局	<p>特別緑地保全地区に加え市民緑地も含まれる。市民緑地の場合でも2割の減免がされる。市民緑地についても都市緑地法に基づいているものであり、市では2カ所指定している。地権者と20年の契約をして借りている土地であれば2割減、特別緑地保全地区は都市計画の指定がされていれば減免があるが、指定すると建物が建てられないなどの縛りがあり、地権者が嫌がることもあるので公有地化してから指定している。</p>
丸田会長	<p>さいたま市では、新しい都市緑地法に基づく地区計画に何か関係があるか。</p>
事務局	<p>さいたま市では地区計画はない。また、税務署と市が直接協議したことはないが、市の条例に基づいて5年の縛りがある自然緑地、保存緑地でも2割減とはいかないまでも減免になるのではないかと考えられる。</p>
丸田会長	<p>緑地の保全には相続対策が大事になっていく。相続まで考えて指定していくと緑地の永続性があると思う。</p>
堀江委員	<p>用地取得計画書の6カ所ですべてAaとなっているが、これ以外に評価は低いが、申請されているものはあるのか。</p>
事務局	<p>これ以外にも相談としてはある。それらについては今後検討していきたい。</p>
堀江委員	<p>申請されたものは、かなりの確率で買い上げというかたちをとっているのか、それとも一部にすぎないのか。</p>
事務局	<p>市の予算の問題もあるので、相談の中で少し待っていただくこともある。例えば3年程度待っていただくケースもある。</p>

報告事項（３） さいたま市緑の基本計画アクションプランの実施状況について	
事務局から、さいたま市緑の基本計画アクションプラン実施状況について、資料に基づき説明	
池上委員	「遅れ」が生じている６事業のうち、みどり推進課の「生け垣助成制度」について、今後の取組として「効果的なPR方法について見直しを行い、制度活用の促進を図る」とあるが、具体的にどういったPR方法を考えているのか。
事務局	市内に住宅展示場が何カ所があるが、そういったところにパンフレットを配置するなどの対応を考えている。今までは住宅メーカーへのPRが不足していたと感じているので、今後は積極的にPRしていきたい。
池上委員	造園業者へのPRが必要である。古くなったブロック塀を「市の助成があるから生け垣に替えませんか」と事業者が営業すれば、民間業者が市の代わりにこの制度を市民にPRすることになり、また事業者育成の点でも良い。
池上委員	生け垣助成制度について、予算はいくらか。
事務局	助成金はさいたま市公園緑地協会で支出している。実績として約２９０万円程度である。
池上委員	さいたま市公園緑地協会に問い合わせたところ予算には上限があって、大量に申請されても対応できないと言われた。市として真剣に生け垣を増やしたいと考えるのであれば、予算をぜひ増やしていただきたい。
堀江委員	「まちづくり」という観点から考えて、「子どもの通学路の部分がブロック塀では地震の場合に危険なので生け垣にしよう」というような働きかけをしたほうが市民の理解も得やすいのではないか。
黒岩委員	さいたま市でこれだけの施策に取り組んでいただいているというのは有難く思っているが、このプランが他の都市と比べたときにどの程度の水準にあるのか知っておいたほうがよいと思う。
八木澤委員	「概ね順調」がかなり多いが、なかにはこれ以上進まない事業もあるのではないか。みどり推進課でそういった実情も把握しておいたほうがよいと思う。
報告事項（４） さいたま市見沼田圃基本計画の実施状況について	
事務局から、平成２４年１０月１日付で、みどり推進課内において「見沼田圃係」が「見沼田圃政策推進室」に組織改正したことを報告。その後、さいたま市見沼田圃基本計画の実施状況について、資料に基づき説明。	
黒岩委員	Minucomiのメンバー構成を教えてください。

事務局	<p>広く一般市民に声をかけると見沼田圃の基礎から説明する必要性も出てきてしまうので、市民活動ネットワーク登録団体を中心に声をかけた。他に大学院生も緑区・見沼区に1名ずつ参加いただき、全部でそれぞれの区で6名前後の方に参加いただいた。</p>
丸田会長	<p>図面を使うときは、方位とスケールを表示したほうがよい。そのほうが見沼田圃がいかに広大な土地であるのか示すことができる。</p>
6 その他	見沼代用水の桜並木について
事務局	<p>見沼田圃に日本一の桜並木を整備することになった。まだ具体的なことは決まっていないが、東縁において市内では10キロメートルのうち6キロメートル程がすでに桜の木が植わっている。西縁では18キロメートルのうち10キロメートルほど植わっている。今後調査していくが、桜をどのように管理していくか、土地の持ち主を把握していく必要があると考えている。</p>
引間委員	<p>自転車サイクリングロードと桜並木の事業は平行して進めていくのか。</p>
事務局	<p>昨年、市立病院の裏手で社会実験を行ったが、歩行者からは自転車が通って危ないという意見もあったので、そういった声も取り入れて検討していく必要があると考えている。</p>
丸田会長	<p>桜並木の全長は何キロメートルか。</p>
事務局	<p>16キロメートルほどであるが、正確な数字ではない。個人的に植えている場合や、植えていても枯れてしまっている木もあると推測されるので、来年度調査していきたい。</p>
丸田会長	<p>国内で一番長い桜並木はどこにあるか。</p>
事務局	<p>青森県弘前市にある。ホームページ上の情報ではあるが、20キロメートルとなっている。また世界一とうたっている。</p>
(16時15分 終了)	